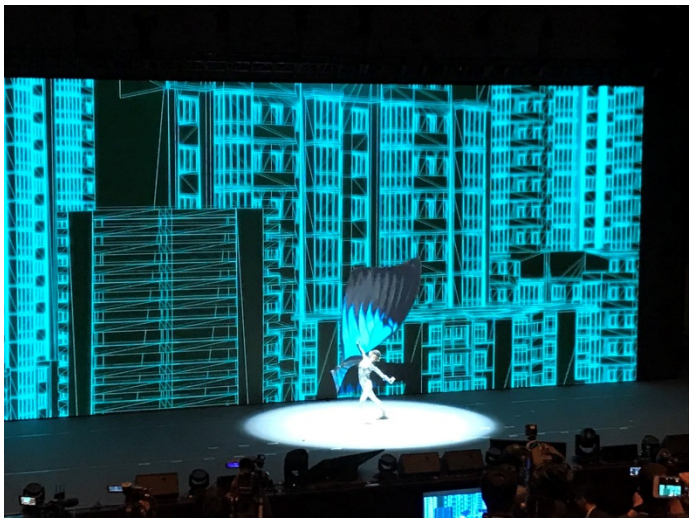
WCIT / ASOCIO ICT サミット 2017　開催報告

JISA 国際部

平成 29 年 9 月 11～13 日、台湾・台北国際会議場（TICC）において、WCIT/ASOCIO ICT サミット 2017 が開催された。今年のテーマは「Living the Digital Dream」で、台湾国内、世界 37 カ国からあわせて約 3,000 名が参加した（主催者発表）。

JISA からは浜野 一典 副会長・グローバルビジネス拡大委員会委員長、鹿島　亨 同委員会副委員長、伊藤　整一 理事・同委員会副委員長、小脇 一朗 副会長・専務理事を含む 40 名が参加した。



WCIT/ASOCIO 2018　開会式・オープニング

1. WCIT・ASOCIO 2017（9 月 11 日～13 日）

WCIT/ASOCIO 2018　開会式（中央は台湾 蔡総統）

【1 日目】

まず今回のホスト国である台湾政府から、蔡 中華民国総統および Shen Jong-Chin 経済産業大臣がそれぞれ開会挨拶を行った。また、WITSA 会長 Yvonne Chiu、ASOCIO 会長 David Wong からも挨拶が行われ、各国協会の協力に感謝を述べた。

その後、世界経済フォーラム Senior Director Alan Marcus 氏とマサチューセッツ工科大学 Director of the Connection Science and Human Dynamics Labs の Alex Pentland 教授より基調講演が行われた。

次の“Smart Growth Towards a Circular Economy”というテーマのパネルディスカッションには、ソーラーエネルギーのみで世界一周に成功した飛行機 Solar Impulse 2 の革新的な新素材を開発した Covestro 社 CEO の Patric Thomas 氏が、その飛行機でパイロットとして世界一周した冒険家 Bertrand Piccard 氏と共に登壇した。世界一周の時の様子や Solar Impulse 2 に使われた新素材について紹介し、革新的な新素材の開発は、今後の人類社会のために大きな貢献ができる、と述べた。

午後には、デジタルデバイドやサイバーセキュリティなどをテーマにパネルディスカッションが行われ、夜には台北ナイトと称するウェルカムパーティーが行われた。

【2 日目】

（株）NTT データ　代表取締役社長　岩本　敏男氏より“Disruptive Technology and Innovation”と題する基調講演が行われた。特に、AI や IoT を使って同社が世界各地で行っている、交通渋滞抑制のための信号自動制御システム、スマートシティープロジェクト、ICU での医療支援システム、3D 地理情報システムなどの革新的な取り組みについて紹介した。

（株）NTT データ　岩本社長 ご講演の様子

続いて、“Digital Transformation with IoT”と題し、Microsoft / Corporate Vice President Mr. Jason Zander より講演が行われたほか、Philips Lighting / Chief Strategy & Marketing Officer Bill Bien 氏からはスマート/グリーンテクノロジーについての基調講演が行われた。

夕方には、JISA からの参加者による懇親会を行い、来年、東京で開催予定の ASOCIO 2018 サミットに向け、協力を依頼した。

夜には、ガラディナーが行われ、WCIT/ASOCIO Award 表彰式が行われた（下記参照）。

【WCIT/ASOCIO アワード 2017 表彰式】

9 月 12 日（火）夜 7 時より、台北 世界貿易センターホール 3 にて、約 600 名が参加してガラディナーが盛大に開催された。

その中で、ASOCIO アワード 2017 の授賞式が行われ、JISA からベンダー部門に推薦した（株）NTT データおよび（株）ユニ・トランドの 2 社が受賞した。

（株）NTT データ　宮本氏 授賞の様子

（株）ユニ・トランド　高野社長 授賞の様子

【3 日目】

三菱電機（株）下村 節宏 相談役より、“A Future Vision of Manufacturing”と題して基調講演が行われ、同社における将来に向けた新しい取り組みなどについて紹介があった。

また、”Promoting Digital Inclusion and Equality”と題したパネルディスカッションや分科会が行われた後、閉会式で幕を閉じた。

【ASOCIO Farewell Dinner】

9 月 13 日夜には、ASOCIO Farewell Dinner が圓山大飯店に会場を移して行われた。

JISA より、あらかじめ用意した招聘ビデオを上映し、来年 11 月に東京で開催する ASOCIO 2018 への多くの参加と協力を呼びかけた。

ASOCIO Farewell Dinner にて JISA 参加者と台湾 CISA/WITSA　邱会長

2. WCIT 2017 展示会

WCIT 開催にともない、隣接する台北世界貿易センター（TWTC）Hall 1 で約 600 社がブースを出して展示会が行われた。JISA からは、（株）網屋、（株）ブリリアント、ASOCIO Award を受賞した（株）ユニ・トランドの 3 社に加え、来年の ASOCIO 2018 東京開催の PR を行った。

展示会場の様子

展示ブース（3 社＋JISA）

3. WITSA/ASOCIO 総会・役員会（9 月 10 日）

ASOCIO 役員会終了後の全体写真

WCIT/ASOCIO 2017 開催に先立ち、WITSA 役員会および ASOCIO 年次総会が行われた。

JISA からは浜野副会長・グローバルビジネス拡大委員会委員長、伊藤理事・グローバルビジネス拡大委員会 副委員長、小脇副会長・専務理事他が参加した。

ASOCIO 年次総会では、来年の ASOCIO 総会およびサミットを 11 年ぶりに JISA がホストして東京で 2018 年 11 月に開催することとなり、ASOCIO メンバー各国の協力を要請した。

また、ASOCIO で WITSA と協力してアジア・オセアニア地域の主要 12 カ国における ICT 産業とデジタル革命の進展状況についてまとめたレポート”Reimagining the Digital Era”を今回の会議に併せてリリースしたことが報告された。

その他、11 月 25-27 日にベトナム・ホーチミンシティにおいて開催される ASOCIO スマートシティー会議の詳細、来年 3 月の中国深圳への視察ミッションについて、来年 6 月にブータンで行われる ASOCIO 年央役員会についての紹介などが行われた。

4. ASOCIO 2018 日本開催に向けて

・ 今回は世界会議（WCIT）と ASOCIO との共同開催ということもあって、オープニングセレモニーに蔡英文総統が出席するなど、大がかりなイベントであった。
台湾政府・台北市の支援、更には多くの企業の協賛があったようであり、日本開催においてもある程度の規模・盛り上げが必要となると考えられる。

・ ASOCIO メンバー国から 300 名を超える参加者があり、日本での ASOCIO2018 にも多くの海外参加者が見込まれるため、運営面で多少の見直しが必要。

・ 講演やパネルディスカッションのテーマは、デジタルフォーメーション、破壊的イノベーション、IoT、スマート製造業など、いわゆる第四次産業革命に関するものがほとんどであったが、総論的議論が多く、先進的な具体的事例への言及は少なかった。日本での ASOCIO2018 では、日本発の多くの先進例を盛り込むことが効果的と思われる。

・ 台湾国内からの参加者は若者が多かった。来年の日本での ASOCIO 2018 は JDMF と同時開催として日本の多くの若者にも参加してもらえるようにしたい。

以上